

## 令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立藤枝特別支援学校焼津分校PTA
学 校 名	静岡県立藤枝特別支援学校焼津分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	51人

### 1. 使用状況

寄贈物品名	刺繍データ作成ソフトウェア
使用学年及び人数	高等部 縫製班1, 2, 3年生 12人
使用頻度	週3回程度(作業学習時)
使用状況	<p>縫製班では、文化祭及び地域の古民家カフェでの販売に向けて、布製品(トートバック、ヘアゴム、筆入れ、ブックカバー、お弁当袋)の製作を行っています。</p> <p>今年度は、インシヤルの刺繍を入れた製品づくりを行っています。受注の際に、インシヤル刺繍入りの注文をとり、製品を作っています。</p> <p>また、インストールされた既成のデザイン以外の分校生徒が考えたイラストや、焼津水産高校生徒がデザインした画像などから、本ソフトウェアを使用して刺繍ができないか、新たな製品作りに活かせるよう試みています。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>製品にワンポイントとしてインシヤルの刺繍や、生徒の考えたデザインの刺繍ができないかを試みています。既成デザイン以外はまだまだ調整が必要ですが、刺繍ができる本ソフトへの生徒たちの興味関心は高く、次年度の製品づくりに活かせるよう生徒の意見を聞きながら進めています。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>インシヤルの刺繍入りの製品は需要があります。今後も続けて取り入れていきたいです。</p> <p>独自のイラストを取り入れることは、データ編集の際に、調整に時間を費やすことと、刺繍自体にかなりの時間を費やすことがわかりました。</p> <p>今後は、刺繍のサイズや目の粗さを調整したり、刺繍のイラストやデザインを簡素化したりして、データづくりに取り組んでいきたいと考えています。</p>
その他希望や所感など	<p>生徒が考えた刺繍入りの製品製作は、魅力的であり、製品の価値を高めます。良い製品づくりに必要な用具であるため、効果的かつ実用レベルで使用できるよう研究し、活用していきたいと思えます。</p>

## 2. 活用の様子



縫製班の作業学習の様子



刺繍入りトートバック（既成デザイン使用）



刺繍入りハンカチ



生徒がデザインした  
かつおの刺繍



錨の刺繍色決め